

## Q&A

### Q. レジデント修了後の就職先は？

A. これまでのほとんどのレジデント修了生が当院薬剤部の特定有期職員として入職しました。

### Q. 認定や専門薬剤師の取得に支援は？

A. 当薬剤部では認定や専門薬剤師の取得を推奨していますので、取得に必要な申請費用や講習参加費用等を支援しています。

### Q. レジデントに求められる人物像は？

A. 患者のために薬剤師として何ができるかを自身で考え、自主的に行動できる人が望まれます。また、自己研鑽のモチベーションの高さも大切です。

### Q. レジデント期間中の研究はどのように行うの？

A. テーマは自身で考えたものや薬剤部職員から提案されたもので行います。研究センターが計画から実施、解析、発表までをサポートします。

## 先輩からのメッセージ



2022年レジデント修了  
修了後勤務年数 4年目  
病院薬学認定薬剤師

高橋 慶

研修1年目は様々な部署を経験しました。2年目に私は糖尿病腎臓病専門コースを選択し、糖尿病内分泌内科病棟やNEST（当院の栄養サポートチーム）での研修を経て、現在は病院薬学認定薬剤師を取得後、病棟薬剤管理業務を中心に業務・教育・研究に取り組んでいます。



2023年レジデント修了  
修了後勤務年数 3年目  
病院薬学認定薬剤師

古江 由依

まずは臨床のジェネラルな知識を身に付けたいと考えていた私にとって、当プログラムはまさに理想でした。2年間で多様な診療科の病棟業務を経験することができ、処方を俯瞰的に捉える力を養うことができました。また、研究面でも先生方にご指導いただき、学会発表でも賞を受賞することができました。



2025年レジデント修了  
修了後勤務年数 1年目

佐伯 龍之介

私は基礎を鍛えながら自らの視野を広げたいと考え、当プログラムを志望しました。2年間で様々な部署やICTなど専門領域での活動を経験し、教育・研究活動にも携わることができました。現在は資格の取得を目指しながら、職員として病棟業務を中心により良い薬物治療へ貢献すべく日々研鑽に励んでいます。



2025年レジデント  
(1年目)

石田 朋奈

1年目は幅広い部署を経験し、業務全体を体系的に把握するとともに、症例報告を通じて薬物治療を振り返ることで視野や知見を広げることができました。また、チーム医療や研究活動にも参画し、より質の高い薬物治療に貢献できるよう励んでいます。

### プログラム詳細

スケジュール詳細、レジデントプログラムの概要、Kobe-PRSについては  
神戸大学医学部附属病院薬剤部オリジナルホームページをご確認ください。  
下のQRコードから読み取ることもできます。応募前には必ずご確認ください。  
<http://www.hosp.kobe-u.ac.jp/yakuza/>

### 問い合わせ先

神戸大学医学部附属病院薬剤部（担当：大村）  
〒650-0017 神戸市中央区楠町7-5-2  
TEL: 078-382-5111

神戸大学医学部附属病院薬剤部オリジナルホームページ



Facebookアカウント



Instagramアカウント



# 神戸大学医学部附属病院薬剤部

Department of Pharmacy, Kobe University Hospital

## 薬剤師レジデントプログラム





## 薬剤部の概要

### スタッフ

薬剤師 定員77名  
 神戸大学薬剤師レジデント 5名  
 神戸薬科大学薬剤師レジデント 2名  
 事務補佐員・技能補佐員 8名  
 派遣職員 2名  
 委託職員 3名  
 (2025年11月1日現在)

### 認定・専門薬剤師

- 日本医療薬学会／医療薬学指導薬剤師
- 日本医療薬学会／医療薬学専門薬剤師
- 日本医療薬学会／がん専門薬剤師
- 日本医療薬学会／薬物療法専門薬剤師
- 日本病院薬剤師会／病院薬学認定薬剤師
- 日本病院薬剤師会／感染制御専門薬剤師
- 日本病院薬剤師会／感染制御認定薬剤師
- 日本病院薬剤師会／HIV感染症薬物療法認定薬剤師
- 日本病院薬剤師会／妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師
- 日本病院薬剤師会／認定指導薬剤師
- 日本薬剤師研修センター／認定薬剤師
- 日本薬剤師研修センター／認定実務実習指導薬剤師
- 日本薬剤師研修センター／小児薬物療法認定薬剤師
- 日本薬剤師研修センター・日本生薬学会／漢方・生薬認定薬剤師
- 日本臨床薬理学会／指導薬剤師
- 日本臨床薬理学会／認定薬剤師
- 日本臨床薬理学会／認定CRC（薬剤師）

のべ133名

## 神戸大学医学部附属病院薬剤部の4つのミッション

### 患者中心のチーム医療を実践する

- ✓ 薬剤師業務を地道に行う
- ✓ 業務の効率化と新規業務の開発
- ✓ 安全性と経済性のバランス感覚を養う



### 明日の薬物治療に変化をもたらす

- ✓ 薬剤業務の科学的評価
- ✓ 計画的な学会発表
- ✓ 研究成果の論文化



### 10年後の医療を牽引する薬剤師を育成する

- ✓ 薬学部卒前教育への貢献
- ✓ 初期レジデント制度の充実
- ✓ 認定・専門薬剤師及び学位取得の支援



### 兵庫県の医療に貢献する

- ✓ 認定施設として研修生の積極的受入れ
- ✓ 地域での勉強会や活動の推進
- ✓ 人材確保と人材交流



## レジデントプログラム

2027年度よりプログラムが変わり2年間のコースに1本化します！

### ①体系的に充実した教育内容

- ・1年目：セントラル業務を含む基礎的臨床能力を確実に習得
- ・2年目：病棟業務研修により、高度な実践力・対応力を獲得

### ②バランスの取れた研修とサポート体制

- ・セントラル業務と病棟業務を段階的に、しっかり経験できる
- ・幅広い領域を網羅した充実のプログラムとメンターサポート

高い実践力を持って修了

2年間で着実にスキルアップし、レジデント修了後は自信を持って現場（当院等）で活躍できる

## 卒直後薬剤師臨床研修プログラム

スケジュール	1年目	第1クール						第2クール					
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	中央業務研修	調剤 (2)		調剤 (1.5) 製剤 (0.5) 通院 (2)				調剤 (1.5) 通院 (1.5) DI/TDM (0.5)			調剤 (1) 通院 (1)		
	病棟業務研修							病棟・ICU見学					病棟研修①
	時間外業務										夜勤サポート・日勤・午前勤スタート		夜勤・午後勤スタート
	新人教育セミナー										講義・自己学習 (OJT、治験含む)		
	チーム医療										緩和 (1) 、NEST (1) 、ICT (1) 、OPE (0.5)		
	症例検討会/スキルアップ										スキルアップセミナー：毎週、症例検討会：毎月		
	臨床研究							研究テーマの選定	計画書作成	研究検討会			データ収集・解析
	症例レポート											ICT 1症例	ICT 1症例
	Kobe-PRS												到達度評価 (毎月)
2年目	第3クール						第4クール						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	中央業務研修	調剤 (1) 通院 (1)											調剤・通院・病棟・薬剤師外來のローテーション
	病棟業務研修		病棟研修② (中央業務と兼任)					病棟研修② (外科 (3.5) ・内科 (1.5) )					※状況によっては、3年目以降の部署配属の準備としての業務に従事する可能性もあり（在宅訪問・薬局研修を含む）
	時間外業務										夜勤サポート・日勤・午前勤・午後勤・夜勤		
	新人教育セミナー										講義・自己学習		
	症例検討会/スキルアップ										スキルアップセミナー：毎週、症例検討会：毎月		
	臨床研究	テーマ再検討						データ収集・解析					学会発表・論文文化の準備
	症例レポート	1症例	1症例	1症例	1症例	2症例	2症例						学会発表
	Kobe-PRS												到達度評価 (毎月)

調剤：内服/外用/注射薬調剤、製剤：院内製剤/無菌調製、通院：外来化学療法室、DI/TDM：医薬品情報室とTDM室、OPE：手術室、ICU：集中治療室、NEST：栄養・輸液サポートチーム  
 ICT：感染制御チーム。 各スケジュールの研修の後の数字は、従事するおおよその月数を示す。

### ここがPOINT!!

- ✓ 1年でほぼ全部署を経験
- ✓ 早期から長期間病棟業務に従事
- ✓ 到達度評価 (Kobe-PRS) によるスキルアップ



- ✓ 充実のサポート体制
- ✓ 研修メンター
- ✓ 研究メンター
- ✓ プリセプター



- ✓ 充実の部内セミナー
- ✓ スキルアップセミナー
- ✓ 症例検討会



- ✓ 薬学部の事前実習や実務実習
- ✓ 医学部教育にも従事
- ✓ 多職種協働のグループワークにも参加

Kobe-PRSとは？  
 薬剤部各部署で設定した学習成果に基づく3段階ルーブリック表です。この評価表の適用により業務に必要な知識と技能を効率的に習得することができます。

Kobe-PRS 研修部署名:調剤室・薬品管理室 研修目標:適切かつ安全な薬物治療が実施されるように調剤を行うことができる			
観点	3(理想的な薬剤師レベル)	2(研修終了時に期待されるレベル)	1(研修開始2週間程度かけて到達するレベル)
内服・外用・注射薬の処方箋 査・疑義照会	必要に応じてカルテから患者背景や病態等の情報を収集し、それらを考慮した上で、処方内容が適切であるかどうかを評価し、疑義照会を含め適切な処方提案ができる。	処方箋の基本的な記載事項が適切であるかどうかを判断し、不備があった際に疑義照会を行うことができる。	
内服・外用・注射薬の処方箋 に基づく調剤	-	一包化・錠剤の粉碎・剤形選択・配合変化の回避・安定性の確保等、工夫を必要とする調剤について、添付文書、インターネットフォーム、各種書類等を用いて適切に判断し、調	計数、計量調剤(散剤、水剤、外用剤)を内規に沿って正確に行うことができる。